

# 放課後デイサービス「ちゃれんじくらぶ大野城教室」支援プログラム

作成日：令和7年2月21日

## 1. 支援の目的

・「たのしい!」、「できた!」、「できる!」で

**自信と自主性を育みます**

私たち「ちゃれんじくらぶ」は、障がいを抱える子どもたちの個性を見極めながら児童の将来を考え、感謝・思いやりの心を大切に、放課後や夏休み等において生活能力、社会への適応能力などを高めていけるよう支援して行きます。

また、「できた!」という経験を増やししながら、自分に自信を付けていく場所を提供し、

保護者の皆様の不安や悩みにつきましても、常に耳を傾け共に成長を見守って行けるよう日々努力して参ります。

## 2. 具体的な支援内容

まずはちゃれんじしてみるという自主性を持たせ、子供たちに「できる!」という自信や「できた!」という達成感を持たせるように支援していきます

### ① 健康・生活

○日常生活の中で必要な衛生管理(感染予防・手洗い・うがいの励行)を行い、同時に掃除、片付けの習慣が定着するよう日々支援しています。

○おやつ作り、バーベキューなど全員で食事を作り食べる行事を定期的に行い、食の大切さや楽しさを感じる機会を設けています。

○体調管理、水分補給などを促し、自分の体はまず自分で守るという意識を育てます。

### ② 感覚・運動

○バスケットボール、体幹トレーニングなどの運動療育により上肢・下肢の運動、筋力や体力の維持・向上を図ります。

○学習や創作活動(工作、手芸、おもちゃ作りなど)の中で、姿勢保持や指先の使い方、道具の使い方を指導しながら、日常生活に役立つ支援をしています。

○ビジョントレーニングを行い、視覚的な認知の成長を育みます。

### ③ 認知・行動

○スケジュールを把握し、先の見通し、切り替え、危険予測ができるよう支援しています。

○職員と児童との関わりや児童同士の関わりに細かく目を配り、問題があるときには解決へと導き、生活の中での困難さや生きづらさが軽減されるようにしています。

○すぐにできないことでも、児童の発達段階や特性に考慮しながら、たとえ小さな成長でも見逃さないよう細かい支援をしていきます。

○言葉がある場合もそうでない場合も、どちらも本人の伝えたいことが表出されるよう、ストレスや悩みを抱えていないか配慮し、常に自分の気持ちを表現できるような環境づくりをしています。

#### ④ 言語・コミュニケーション

○人との関わりの中でのソーシャルスキルを育て、自分の気持ちを知る、伝える、また相手の気持ちも知ろうとする、大切にすることを日々の支援の中で伝えていきます。

○嬉しい言葉、傷つく言葉、優しい言葉、いやな言葉など、言葉が生活の中でいかに大切かを伝えていきます。

○プログラムスタートの際、簡単なルール説明を手伝ってもらうことで意思の伝達の支援を行っています。

#### ⑤ 人間関係・社会性

○余暇活動など指導員が介入しながら、集団参加、対人関係の発達を

支援します。

○外出カリキュラムを取り入れ、公共の施設利用、スーパーでのお仕事体験などを通して社会のルールを学ぶ機会を設けています。

### 3.基本的な日々の流れ

#### 【学校通常下校】

下校→身支度・宿題→集団療育・自由時間→帰宅準備・帰りの会  
→帰宅

#### 【学校休校日】

登室→宿題・プリント学習→集団療育・自由時間→昼食→  
リラックスタイム→集団療育→帰宅準備・帰りの会→帰宅

### 4.家族支援

ご家族や学校との連絡、相談援助を行います。

また、ご家族の負担の軽減や心身の健康保持ができるよう時間の確保や、就労等による預かりニーズに対応するための延長支援を行います。

### 5.移行支援

学校や関連の医療福祉施設との情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を築き、支援していきます。

## 6.地域支援

活動療育にあった地域施設の利用を行います。

関係機関との連携を図りながら自立に向けたサポートを行います。